

シト傍訓シ、本草和名ニ波末多加奈ト云者ハ今俗云ルクチラグサ也、此草海濱ニ多ク生ズ、故ニ
鯨草ノ名アリ、字鏡ニ波万太加奈在海濱ト云此也、秋後ヨリ苗ヲ生ジ、春ニ至リテ葉齊葉ノ如ク
ニシテ、岐細ニシテ青、蒿葉ノ如ク白ヲ帶テ軟也、春高サ二三尺ニ至リ、莖圓ク葉互生シ、梢ニ小黃
花ヲ開ク、齊花ニ似タリ、花後莢ヲ結テ油菜莢ニ似テ細ク小也、内ニ黃赤褐色ノ子アリ、アシナヅ
チノ子ニ三倍ス、味苦辛ニシテ芥子ノ如シ、即苦葶苈此也、

〔拾遺和歌集

十六

雜春〕女のもとに、なづなの花につけてつかはしける、

藤原長能

雪をうすみかきねにつめるからなづななづさはまくのほしき君哉

〔拾遺抄註

雜

カラカヅナトハ、常ノ齊ヲ讀ナリ、催馬樂云、ニハニオフルカラナヅナハヨキナナ

リト云歌ヲオモヘリ、カヅサハマクノホシキトハ、ナヅサハマホシト云ナリ、

〔古今要覽稿

菜蔬

○中

あしなづな○中
からなづなとよめりさればからなづなとは、甘なづな反對なれば、いにまも葶苈をあまなづ
ていいひしものないべし、

〔藥經太素

下

葶苈子 大冷味苦辛

紙ニ包テ、アツ灰ニ埋テ用能瀉肺、除痰、止嗽、用爲良緣、何下水消浮腫、蓋利膀胱及小腸、

〔延喜式

三十七 典藥

朮月御藥 犀角丸六劑○中 所須○中 葶苈子九兩、

中宮朮月御藥 四味理仲丸○中 所須○中 葶苈子二兩、

〔延喜式

三十七 諸國進年料雜藥

攝津國冊四種○中 葶苈子蓼子蜀椒各三升、尾張國冊六種○中 葶苈子二升、駿河國十七種○
略 葶苈子二升、甲斐國十二種○中 葶苈子五升、相模國冊二種○中 葶苈子五合、武藏國廿八
種○中 決明子、牡荆子亭苈子各三斗、美濃國六十二種○中 葶苈子五升、